



大臨技ニュース

〒545-0051
 大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
 TEL.06-6647-3454 FAX.06-6644-1128
 社団法人 大阪府臨床検査技師会
 発行責任者: 森嶋 祥之
 大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

平成18年 年 頭 所 感

～会員・府民への臨床検査情報提供の推進～

社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 森嶋祥之

新年あけましておめでとうございます。
 平成18年の年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

社団法人大阪府臨床検査技師会(以下本会)は先輩諸氏のお蔭を持ちまして、平成18年1月9日に法人設立20周年を迎えます。改めて今日まで本会を力強くご支援いただきました会員の皆様に深謝申し上げます。平成18年2月4日には記念式典を開催し、府民の健康増進に寄与している本会の取り組みを内外ともに報告する所存であります。さて、今年は、医療制度改革(国民医療費の8割以上を占める公的医療の保険給付費を抑制するための改革)などによる極めて厳しい医療環境の変化が予想されます。検査部運営には直接、予想される4月から病院や診療所の取り分である診療報酬の引き下げ、入院日数の短縮などの対応が関わって来るものと考えられます。本会はこのような環境において、多くの会員の皆様が必要とする情報(学術的情報・検査運営的情報)を提供いたします。

具体的には平成18年度に、下記の事項等を通じて、会員への情報提供と府民への臨床検査の啓発に努めて参りたいと考えております。

1. 医療現場で活躍し得る臨床検査技師の育成強化

医療現場で活躍し得る臨床検査技師の育成強化策として、今年度チーム医療推進委員会を設置しました。来年度は学術部の1部門としてチーム医療部門を設置し、NST(栄養サポートチーム)部会、ICT(感染防御チーム)部会、糖尿病療養指導部会(糖尿病療養指導士)、パス(クリニカルパス)部会に再編し、さらに推進いたします。

2. 管理監督者への情報提供

多くの会員からの要望を受け、来年度には「技師長会」を復活させ、管理監督の立場にある会員の皆様が集結していただき、検査運営に必要な具体的な情報提供をさせていただきます。日臨技では、管理を含めた総合的能力を兼ね備えた技師を養成するための「認定総合管理検査技師(仮称)」制度の構築に着手するとしています。また、医療施設における医療実務と管理運営に通じた人材育成のプログラムである経済産業省平成17年度「医療経営人材育成事業運営に係る教育プログラム」に協力することを明言しています。本会も積極的にこれらの事業に協力していきます。

3. 卒後教育の充実と日臨技生涯教育研修制度の啓発

卒後教育のさらなる発展充実を図るために、現在の学術部6部門19分野体制を見直し、来年度からは、日臨技の組織と同様に分野を廃止して、血液検査部門、臨床化学検査部門、免疫血清検査部門、生理機能検査部門、病理細胞検査部門、一般検査部門、微生物検査部門、輸血検査部門、検査管理システム部門、チーム医療部門の計10部門に再編して再出発します。より世話人の方々に

は活動しやすく、より参加される方々には参加しやすくなります。また、日臨技生涯教育研修ではC教科(臨床専門教科)のみを受講される傾向があることから、平成18年9月16日には「大臨技基礎教養セミナー」を新たに立ち上げ、受講され難いA教科(基礎一般教科)、B教科(基礎専門教科)も受講しやすいセミナーの開催を予定しています。特に認定制度で学会組織のない分野の「認定総合管理検査技師(仮称)」や「認定一般検査技師(仮称)」等の取得においては、日臨技生涯教育研修(A教科、B教科、C教科)への参加が問われるものと思いますので、ぜひ、ご参加ください。

4. 近畿医学検査学会と日本臨床検査医学会近畿支部との合同開催

昨年10月に開催されました両学会の同時開催は成功裏に終わることができました。医師が参加されることにより、質疑応答がより活発になり有用な助言も頂くことができ、演者・聴講者にとって実りある学会になりました。今後、これからの臨床検査技師の発展に必要な学会になるよう努力いたします。平成18年度は福井県で、平成19年度はいよいよ大阪府で開催予定です。平成19年度の日本臨床検査医学会近畿支部総会では大阪大学大学院岩谷良則教授が総会長に就任されたのを受け、本会と合同開催にむけて具体的な準備にかかります。会場は大阪国際会議場で、第54回日本臨床検査医学会総会(総会長: 関西医科大学高橋伯夫教授)に続いての開催(連続開催)になる予定です。平成19年11月には臨床検査の関係者(医師・臨床検査技師等)が一同に大阪に集まります。ご期待ください。
 (次頁へつづく)

5. 府民への臨床検査の啓発活動の推進

例年実施してきました献血活動、手話活動、健康展活動のほかに、昨年実施しました「看護の日」(大阪府看護協会)、「府民健康フォーラム～私たちの暮らしと薬・検査・栄養～」(大阪府薬剤師会・大阪府栄養士会)などへの協力を通じて府民に臨床検査の重要性を啓発していきます。また、青少年への臨床検査の啓発としまして、昨年実施しました堺市教育委員会養護教諭研修会を参考に、さらにその活動も広がっていきます。

6. 学生への技師会活動の広報

卒前教育を担当する教育機関と卒後教育を担当する本会との連携強化を目的に、昨年度から“臨床検査教育施設懇談会”を開催してまいりました。平成18年7月15日には“第1回 大臨技教育セミナー”を開催して、学生と会員との参加の元に、学術的な話題、職能的な話題を

提供して交流を深め、学生時代から技師会活動を理解していただく取り組みを実施します。

7. JICA西アフリカ臨床検査技術コースへの協力

国際医療交流技術財団から日臨技を通じて要請がありました西アフリカ(仏語圏)からの技術研修員受け入れ事業は、近畿臨床検査技師会が担当し、その運営は本会が中心に行うことになりました。開発途上国の臨床検査技師の本邦研修活動を通じて、一人でも多くの会員が国際貢献に関心を持っていただければと思っております。1月下旬には研修対象国の訪問団が外務省からの要請で来日し、JICA大阪(茨木市)等で実務者レベルの研修会受け入れのための会議が開催される運びとなっています。なお、本会会員との交流は、10月ごろに“会員交流会”で行いたいと考えております。

本年も、本会の取り組みにご支援・ご協力をお願い申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

大臨技会員 各位

17大選管発第2号
平成17年12月20日

社団法人 大阪府臨床検査技師会
選 挙 管 理 委 員 会
委員長 吉 岡 利 成
(公印省略)

選 挙 告 示 (第1号)

社団法人大阪府臨床検査技師会の、平成18年度・19年度の役員選挙を下記のとおり告示します。

記

- | | |
|------------------|---|
| 1. 告示日 | 平成17年12月20日 |
| 2. 選挙を行う役職名および定数 | 1) 会 長 1名
2) 副会長 2名
3) 理 事 15名
4) 監 事 2名 |
| 3. 立候補受付締切日 | 平成18年1月31日(必着) |
| 4. 役員候補者名簿告示 | 平成18年2月25日 |
| 5. 投票受付期間 | 平成18年3月1日～3月7日(消印有効) |
| 6. 開票日 | 平成18年3月10日 |
| 7. 選挙管理委員会事務局 | 大阪市阿倍野区旭町1-1-28
社団法人大阪府臨床検査技師会内
Tel: 06-6647-3454 |

【 選挙に関し下記の点にご 注 意 く だ さ い 】

1. 役員に立候補する者は、その役職名を指定し、選挙管理委員会に届け出てください。所定の立候補届出書は、選挙管理委員会事務局に請求してください。
2. 会長、副会長、監事の立候補者は、継続して10年以上正会員であることが必要です。
3. 役員候補者を推薦しようとする者は、候補者の承諾書を添えて、選挙管理委員会に届け出てください。
4. 重複会員および賛助会員は、選挙権および被選挙権はありません。
5. 投票は各施設ごとにまとめて、選挙管理委員会事務局あての郵送投票とします。



●第7回「大放技・大臨技合同フォーラム」開催のお知らせ●

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

毎年恒例となりました(社)大阪府放射線技師会(大放技)との共同開催による「大放技・大臨技合同フォーラム」を下記の通り開催します。異なる医療職種の立場から、医療環境を取り巻く問題や学術的な話題など一緒に考えて行きたいと思っています。ぜひ、多数の皆様の参加をお待ちしております。

日 時：平成18年 1 月21日(土) 14：30～17：30

場 所：関西医科大学附属滝井病院講堂 6 階
(京阪電車「滝井駅」徒歩 3 分)

内 容：

1部／教育講演～これだけは知っておきたい基礎講座～

心電図・胸部CT撮影の見方、読み方

講師：日生病院中央臨床検査部 山崎 正之

大阪府立呼吸器・アレルギーセンター放射線科 山口 道弘

2部／特別講演～乳がんの診断と治療の現状～

講師：関西医科大学 第二外科乳腺外科 科長 田中 完児

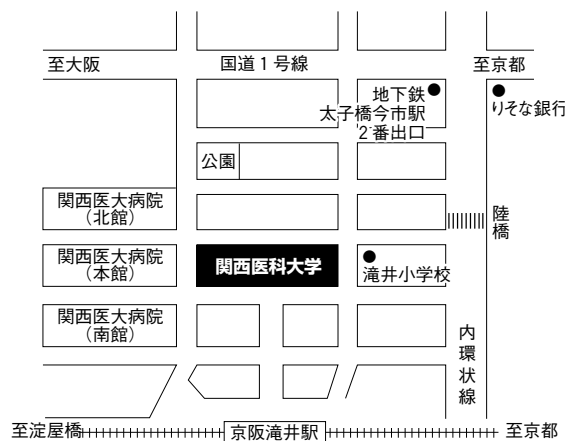
評価点：A－10点（会員証をお持ちください）

参加費：500円（会員・非会員とも）

主 催：(社)大阪府放射線技師会・(社)大阪府臨床検査技師会

連絡先：多根総合病院 竹浦 久司

E-mail : q_take@tane.or.jp



チーム医療推進員会 糖尿病指導部会からのお知らせ

◎ 21世紀を担う臨床検査実践セミナー・滋賀2005 ◎
「糖尿病療養指導の実践」に参加して

小松病院 石原 欽也

第45回近畿医学検査学会前日の10月14日、チーム医療実践セミナーが、天津市のピアザ淡海にて開催されました。当日は、感染制御チーム、栄養サポートチームのセミナーも同時開催され、私は「糖尿病療養指導の実践」に実務委員として参加しました。

当セミナーには、実務委員を含めて合計４７名の参加があり、済生会和歌山病院の田中技師と兵庫県立成人病センター中山技師の司会ですすめられました。

まず、県立西宮病院の秋篠技師から、10社、28種類のSMBG機器の機器について特徴や使用上の注意点などの説明がありました。次に、済生会和歌山病院の船井技師が「糖尿病療養指導とクリニカルパスについて」というタイトルで講演されました。クリニカルパスは、患者満足度の向上、チーム医療の促進、在院日数の短縮、コスト削減に効果があり、EBM (Evidence Based Medicine) に基づいてコメディカルのケアの介入を整理し、順序立てて活用することが大事であると話されました。臨床検査技師がこのチームに積極的に参加することで、存在意義が再認識されると思いました。

その後、糖尿病の診断基準や病型、病期などについて事例に基づいた問題を解いていきました。このケーススタディでは、1班5～6名に分かれて班ごとに順番に回答していくのですが、時間の関係で、かなりすばやい回答が求められ、皆必死でした。でも、数値や、言葉など

をどのように患者様に説明するかが求められる場合を考えると当然のことかなと思いました。

最後に香川大学医学部教授の石田先生に療養指導についてご講演いただきました。患者様の立場になって考えることが大切で、「～してください」はやめて、患者様に考えていただく、価値観を押し付けないようにと、お話いただきました。「あなたは・・・合併症になりますよ」ではなくて「私だったら・・・します」というように主語を「You」ではなく「I」にすると意識が変わるという言葉が印象的でした。「I」には「愛」がこもっているんだなあと思いました。

今回実務委員として班長を務めさせていただき、短時間にうまくまとめて回答するのが大変でしたが、今では楽しい経験となりました。今後、チーム医療に参画するにあたって私たちには、このような形式のスタディがますます必要になってくると思います。

○ 第 8 回 糖尿病療養指導士講演会 予告

日時：平成18年2月25日(土) 13:20～17:00

場所：大阪国際交流センター

フットケアを中心とした講演会の予定をしています。
詳細は2月号でご案内いたします。

大阪府臨床検査技師会 社団法人化20周年記事業

日 時：平成18年2月4日(土) 記念式典 15：00～16：00 / 記念祝賀会 16：15～18：00
場 所：三井アーバンホテル大阪ベイタワー 4階ベイタワーホール
参加費：10,000円。出席を希望される方は**1月10日までにメールで申込みを**してください。
申込先：結核予防会大阪府支部 辻 義則 E-mail：tsu8543@hera.eonet.ne.jp

学術部 生物化学分析部門からのお知らせ

臨床化学検査分野 講演会

日時：平成28年1月12日(木) 18:30~20:00
場所：大阪市立大学医学部 4階小講義室
内容：自動分析装置での検査プロセス管理
一検体測定結果の信頼性保証のためー
講師：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティック(株) 半田 真澄
評価点：Aー10点（会員証をお持ちください）
参加費：会員 700円、非会員 3,000円
連絡先：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 増田 詩織
TEL&FAX：072-360-2344
E-mail：shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp

評価点 = 日臨技生涯教育点数

緊急要請!! 輸血用血液の激減

第23回 ほんわかボランティア

冬季「献血の呼びかけ」を行います。

涉 外 部

会員のみなさん、今年もめっきり寒い時期になりました。毎年この時期には、献血者の数が減少し、輸血用血液が不足します。しかし、輸血を受ける患者さんは減りません。献血に対する皆さんのご協力が必要です。今回も自らが献血出来る方はもちろん、献血は出来ないけれど、市民の方への呼びかけを手伝ってくれる方など多くの会員の方のご参加をお待ちしております。皆様の暖かいご協力をお願いいたします。

日 時：平成18年 2月18日(土) 10：00～16：00
場 所：難波グリーンガーデン（南海難波駅北すぐ）
活動内容：献血への協力・呼びかけ
（献血キャンペーンティッシュの配布）
研修点：B－10点
（午前だけ、午後からの活動参加でも）
（OKです。よろしくお願いします。）
連絡先：多根総合病院 竹浦 久司
E-mail：q_take@tane.or.jp

学術部 感染・免疫検査部門からのお知らせ

■ 微生物検査分野 定期講習会

正確に、より早く、より便利に……ということから遺伝子検査診断技術が日々進歩しています。その遺伝子を取り出した微生物のことは知らずとも、遺伝子のみを対象として研究はすすむ状況です。我々感染症検査分野においても、単に試薬キットとなったもののみを扱って検査している技師ばかりではなく、次々と発売される便利な遺伝子検査のための試薬や機器を駆使して、より臨床に役立つ検査をめざしている仲間も増えています。このような現状のなかで、遺伝子をあつかった技術を我々の感染症検査分野においてどのように活用し、これから更にどのように活用されるのかその将来像も踏まえてご講演いただきます。皆様奮ってご参加ください。

日 時：平成18年1月24日(火) 18:30~20:00
場 所：大阪市立大学医学部 4 階講義室
テーマ：遺伝子検査活用術教えます
講 師：岐阜大学大学院医学研究科 大楠 清文
評価点：C-10点（会員証をお持ちください）
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
連絡先：財団法人阪大微生物病研究会 坂本 雅子
E-mail：masako@biken.osaka-u.ac.jp

学術部 形態検査部門 病理検査分野からのお知らせ

第20回 大阪病理技術研究会

日時：平成18年2月18日(土) 13：00～18：00
場所：(財)日本生命済生会附属日生病院 別館講堂 (予定)
※会場は変更になる場合があります。
次号でご確認ください。

テーマ：「直接ルーチンに役立つベーシックな話題」

1. 【ガラス あれこれ】

講師：松浪硝子工業(株) 松阪 孝彦

2. 【エポキシ樹脂倒立包埋法の応用による横断切片作製法からパラフィン切片の厚さ計測について(仮題)】

講師：藤田保健衛生大学病院病理部 平澤 浩
その他の内容については次号にて掲載します。

評価点：C－10点（会員証をお持ちください）
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
連絡先：大阪厚生年金病院 高田 直樹
T E L：06-6441-5451（内線 2105）
E-mail：ct-naoki@sc4.so-net.ne.jp



日臨技だより（10月理事会議事録より一部抜粋掲載）

経済産業省 平成17年度 「医療経営人材育成事業運営に係る教育プログラム」 高度医療教育コンソーシアムへの参加依頼への対応について

大阪大学院医学系研究科から、「医療経営人材育成教育プログラム開発プロジェクト」事業を立ち上げ、医療施設における医療実務と管理経営に通じた医療管理経営人材を育成するための教育プログラムを開発するにあたり、本コンソーシアムへの参画要請があった。

高度医療教育コンソーシアム「医療経営人材育成教育プログラム開発プロジェクト」委員会等への役員等への派遣について

1. 「医療経営人材育成教育プログラム開発プロジェクト」
委員会委員 朝山日臨技副会長を派遣することにした。
2. ケース作成委員会WG委員
本委員会は次の6セクションから構成される。

- ①病院の成長戦略
- ②医療政策と経営戦略
- ③病院の組織間関係
- ④職種間の協調とナレッジ・マネジメント
- ⑤医療におけるリスクマネジメント
- ⑥疾患別収益性・効率性

この中の②④⑤⑥のWGに会員から人選、派遣することにし、人選は朝山副会長に一任した。

※「医療経営人材育成教育プログラム開発プロジェクト」高度医療コンソーシアムについては下記を参照してください。

・経済産業省ホームページ内 報道発表

平成17年度医療経営人材育成事業における個別教育プログラム開発の公募結果について

<http://www.meti.go.jp/press/20051028004/20051028004.html>



大阪府地域医療推進協議会だより

患者負担増を阻止する大阪府民集会 開催される

大阪府民の健康の向上を図り、医療・保健および福祉行政の拡充強化を目的として府域の28団体により構成されている大阪府地域医療推進協議会により「患者負担増を阻止する大阪府民集会ー国民皆保険制度が危ない!!!」が11月24日大阪市中央公会堂にて開かれた。これは平成18年度以降に順次実施されることになる「医療制度改革」のために、厚生労働省が示した「医療制度構造改革試案」の中に含まれた、患者や高齢者に対する負担金増額に反対したもの。下記スローガンを掲げ、府民へ賛同を求めた。

集会スローガン

- 一. 高齢者を中心とする大幅な「患者負担増に反対！」
- 一. 保険免責制による「患者負担増に反対！」
- 一. 高額医療費・人工透析の「患者負担増に反対！」
- 一. 入院の食費・部屋代の「患者負担増に反対！」
- 一. 医療の安全と質の低下を招く「医療費総枠管理制に反対！」

国民皆保険制度の重要性を改めて認識し、守るためのアピールを採択して、府民1,200名以上を動員した集会は盛会裏のうちに幕を閉じた。

大臨技においても、各施設連絡責任者あてに署名用紙を送付しました。「署名運動」にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

* 報 告 *

府民健康フォーラム

市立豊中病院 清水 隆之

11月26日午後2時から、大阪府中央公会堂において、大阪府の薬剤師会、臨床検査技師会、栄養士会の三団体主催で「府民健康フォーラム～私たちの暮らしと薬・検査・栄養～」が開催されました。大阪府民を対象に『生活習慣病』をテーマに薬・検査・栄養面での知識をわかりやすく知ってもらうのを目的としており、大臨技としては府民への臨床検査の啓発活動、および職能他団体との合同事業への参画となります。

当日は定員300人をはるかに超えて座席が追加されるなど盛況のなか、講演が始まりました。第1部ではメディカルタレントである立原啓氏のユニークな語り口に参加者はおおいに盛り上がり、特に府民である会場の皆さんに、臨床検査技師の仕事内容や医療における役割を、十分にアピールしていただきました。第2部では、それぞれの団体によるミニ講演会、パネルディスカッションが行われました。当会からは、大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科助教授の近藤先生が『太りすぎと血液』というテーマで講演してくださいました。それぞれの講師が非常にわかりやすく講演されており、参加者の皆さん方も非常に興味深く聞かれ、途中の退席者も少なく意義のある講演会でした。参加ご協力いただいた方々にお礼申し上げます。





摂津市民健康まつり開催される

第2地区 区長 本岡 敬一郎

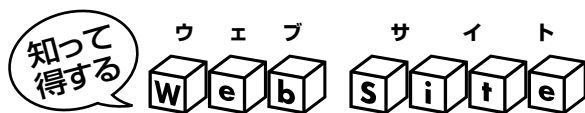
平 成17年11月13日に摂津市民健康まつりが開催されました。今年も医師会の方から市民に積極的に健康管理を進めて行きたいとの意向が強くあり、昨年同様に技師会として簡易血糖測定・血管年齢チェック・骨密度測定・呼吸機能検査の4検査を担当しました。昨年スタート時の予約で混雑が生じ他のコーナーへ多大な迷惑をかけたため、今回は別席で予約をとったところ、全体がスムーズに流れ混乱も

なく検査を進めることができました。事前の広報のおかげで今年もひっきりなしの参加者があり、技師会会員5名とメーカーから4名、計9名で簡易血糖測定102名・血管年齢チェック75名・骨密度測定101名・呼吸機能検査70名の検査を行い盛況のまま無事終了することができました。

《しんどかったけど同時に充実感があったよ》との参加してくれた技師会員からの声もありました。私は今回他

の用事と重なり、前日までの準備と当日の後片付けにしか参加できませんでしたが、吹田の健康展と同様に新しい技師会員が参加され、明るい未来が見えつつあります。今後多くの方が積極的に地域のこのような活動に技師会員として参加していただけることをお願いしたいと思います。

最後に当日に機器を提供していただいたメーカー、並びにご協力いただいた関係各位に感謝いたします。



国際貢献入門編

この1月下旬にアフリカ研修対象国の訪問団が外務省の要請で来日し、実務者レベルでの研修会受け入れのための会議が開催されます。研修生の受け入れ内容は「感染症検査の技術習得」の支援となりますが、実現させるために、様々な機関が役目を持ち、それぞれと連携をとりながら関わっています。今、なぜアフリカ支援が必要なのか、実現への道のりはどうなっていくのか。気になってくれば、あなたも立派な国際貢献委員です。

JICA(国際協力機構) ホームページ

<http://www.jica.go.jp/>

政府開発援助(ODA)の実施機関として、開発途上国の社会・経済の開発を支援している組織です。多くの活動や情報が発信されています。メールマガジンの配信も申し込めます。サイト内のJICA技術プロジェクトホームページではプロジェクトを「国、地域別」「課題別」に検索できるようになっていて、興味深い報告が盛りだくさんです。

JIMTEF(国際医療交流財団) ホームページ

<http://www.jimtef.or.jp/>

開発途上国の医療技術者の人材育成に協力している国際協力NGO(非政府組織)です。研修の委託機関に位置しており、過去の受け入れ実績等が掲載されています。医療関連分野への専門家や調査団の派遣の状況、技術指導協力の実績も知ることができます。職種別でみた受け入れ人数のトップは臨床検査技師なんです。

ユニセフ世界子供白書2004年版データ

http://www.unicef.or.jp/siryo/pdf/haku04_8.pdf

「5歳未満の子供の死亡率」の世界ランキングが掲載されています。今回の支援対象候補国、地域の保健・医療状況を想像するためのデータが掲載されています。

上記データ(PDF版)は、この他、栄養指標、保健指標、HIV/エイズ指標、女性指標、子どもの保健指標(各指標の定義はPDF文書の中に記載されています)がありますが、アルファベット順に国が並んでおり、当該国を探すのが面倒になっているようです。手早く知りたい方は下記を参考にしてみてください。

* * *

「5歳未満の子供の死亡率(1,000人あたり)」の世界ランキングについて

● 仏語圏(一部ポルトガル語) 西アフリカ各国の順位

ニ ジ ェ ー ル	2位	265人
マ リ	7位	222人
ギニア・ビサウ	8位	211人
ブルキナファソ	9位	207人
モーリタニア	15位	183人
コートジボアール	20位	176人
ギ ニ ア	22位	169人
ベ ニ ン	25位	156人
ト ー ゴ	29位	141人
セ ネ ガ ル	31位	138人
カ ー ボ ベ ル デ	90位	38人
※日 本	177位	5人

今回受け入れ予定の国が、死亡率の高いワースト10の中に4カ国入っています。

**臨床検査技師
教育機関
からの声**

少 し前から先輩達が現場からいなくなるケースが増えてきました。私には寂しいことです。と同時に学会誌に掲載される物故者の回想録を読むのが好きです。個性的な人柄を通して行間に当時の様子が偲べれます。それは生クリームのような夢の詰まった時間です。

私は学生時代、先輩に注意されたり先生に叱られて心臓の収縮以上に縮んだ経験があります。

私は卒業後、真新しい製薬会社の研究所に就職しました。そこで9年間、

ネズミ相手の仕事をしました。そして今の学校が創立するについて転職した訳です。対象がネズミからヒトに変わりました。それから25年。

どちらも新しい一からの出発です。これは個人的に凄い経験だと意識していました。この経験から融通性というか達観を得られたと思います。

問題は勤続疲労です。安定の中に不安定因子が潜んでいます。外見は堅固に見えても亀裂が入りジグソー・パズルさながら。異議申し立て世代としてこの局面をいかに切り開いていくか楽しい課題です。

さて、学生です。みなさんも学生だったように私も学生でした。先に書きましたが失敗の上に今があります。

学生は玉石混淆。教師も！と返されそうです。玉も磨かないと輝かないし石も磨けば玉より個性的な光りを放ちます。社会には悪玉も善玉もいます。色んな玉とぶつかってヒトは進化します。出会いですね。特に学生は、臨地実習での先輩の技師さんの言動に左右されます。事実、私も病院実習は先輩

の話や存在に別世界を見た思いがします。それほど臨地実習は生きた教材です。

我々はロボットを作ってるのじゃありません。最近やっとチャップリンの『モダン・タイムズ』が理解できます。

学生は、いつ磨くのか、いつ光り輝くのか未知数です。長い目で見てあげてください。今日、古い卒業生に会って言われました。老けましたねえ。私もあなたに言いたい。毛が抜け、腹に脂肪が付き変貌しています。お互い良い人生が送れますように。



(日本医療学院専門学校)
教務課長 都 隆豪

Review & Report • Review & Report • Review & Report • Review & Report • Review & Report • Review & Report • Review & Report

 第7回 大臨技フォーラム
於 11月19日 阪南パラドーム

於 11月19日 阪南パラドーム

今回のテーマは「緊急検査」ということで、第1部の「CP C－わかるかな？わかって検査結果」では短時間に14症例もの検討が進められた。司会者が会場を駆け回り、参加者に考察を求めてにマイクをむけるというだけでも活気のある状態であったが、そこに、ホームページで資料を先取りし、事前に予習してきている方のオーラが合わさることで、会場に熱気が生み出されていたように感じる。今回は会員が求める「知りたい」と思わせるテーマをうまく採用し、双方向性を得ることができたのではないだろうか。

第2部の特別講演2題は時間が押してしまい、あいにく駆け足での進行となってしまったが、近大病院の佐藤氏からは、時間外の緊急検査の中で、専門性の高いと思われる微生物検査の位置づけをどのようにして

いるのか、興味深い内容の話が聞けた。「時間外に提出された培養検体の対応方法」と「時間外にどこまでやるのか？」特にこの2点に関しては、微生物検査は外注だという施設の方でも参考になったのではなからうか。

関西医大の松尾先生からは、限られた時間の中で、医師として我々へメッセージ性の高い話をしていただくことができた。先のCPCでの検査技師のレベルの高さを評価され、医師が検査技師との協力体制の重要性を述べるのに「私たち（医師）も行きます、あなたたち（検査技師）も来てください」と謙虚に、力強く話されたのが印象的だった。

また、時間外に医師や看護師が検査を行っている、救急外来にある検査試薬や物品についても管理をお願いしたいと、我々に職場でのサイト

を広げてもらいたいことを希望されていた。確かに、管轄外だから知らない顔をするのではなく、我々は検査に関しては、どの部署よりも熟知しているはずなのだから、「検査」と名の付くものにはどんどん手を出していくべきなのだろう。この概念は「チーム医療」参加にも通じるのではないか。

『スペシャリストであり、ジェネラリストでもあれ』今井副会長の冒頭の挨拶のこの言葉は、今回のフォーラムの内容の意味そのものを表している。ほんの3時間弱のうちに挿入された知識だが、参加された方には大切にしてもらいたいと思う。次段階として目標にしたいのは自施設での実践だ。

「使えるかな？使おう 得た知識」

[illegible]

Cool Down

～アンチ禁煙セラピー～

私は1日1箱×10年ほどの喫煙者だ。職場環境にも恵まれ世間のように喫煙場所が外せないというようなことはない。さらにありがたいことに非喫煙者の理解と協力もあり煙草に関するトラブルはなかったように思える。

ところが最近職場以外で煙草に關する事件が起きた。禁煙セラピーという本だ。私の周りのある喫煙者が煙草を止めたく思い読んでみたところ禁煙に成功した。私達は彼が「禁煙が成功したのは本のおかげ。禁煙したくなったら読んでみることを薦めるよ」ぐらいの話をするのかと思った。しかし彼の口から出たのは喫煙者をひどく非難する言葉のみで、完全に嫌煙状態。喫煙者は人間ではないような発言に、本に洗脳されて禁煙できただけならよかったね、と思えるが喫煙者を非難する姿はまるで自分が煙草を我慢するために喫煙者を叩いているという感じで非常に見苦しい。非喫煙者からもみっともないとの声が出た。

「自分は禁煙してない。非喫煙者だから」と言う割には「もう4ヶ月。ここで1本でも吸ったらもう終わりやねん」と言う。終わるって禁煙がだろう？別の喫煙者が本を読んでみたというのでその感想を聞いてみるとあの本にかかると全ての嗜好品が止められるようになっていっているという。では自分の意思でどこまでできるかということで実際に私を含めた喫煙者4人ほどで禁煙を試みたら全員あっさり禁煙継続中。特に禁断症状もなくニコチンにコントロールされていないという驚きがあった。

周りの人がいつの間に煙草止めたの？と言うくらい四の五の言わずにスパッと止めた人を見たことがあるだけに禁煙するのに喫煙者を非難したり侮辱するなんて人は小物ですよ。禁煙するなら見習いたいと思われるような大物に。(今田晶子)

平成18年度 会費納入のお願い

平成18年度 会費納入の時期となりました。会費は前納制をとっていますので、1月31日までのできるだけ早い時期に納入してください。

なお、1月31日までに納入されないとき（継続の方）は会誌「医学検査」が中断されますので念のため、ご案内いたします。

	納入金額
①日本臨床衛生検査技師会	10,000円
②大阪府臨床検査技師会	4,700円
③近畿臨床検査技師会	300円
合 計	15,000円

会費領収書について

原則として領収書の発行は行いません。郵便振込みの際に渡される半券の領収書をもって大臨技会費領収書とさせていただきます。従前のような手書きの領収書を特に必要とされる方は別途大臨技事務所へご依頼ください。

○新入会員の方は、入会金6,500円(日臨技2,000円、大臨技4,500円)が加算されますので、合計21,500円となります。

○なるべく施設毎にまとめてお振込みください。

○納入の際は必ず施設名と会員番号をご記入ください。

○会員の「継続」「入会」「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送をお願いします。TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、会誌「医学検査2006年1月号Vol.55、No.1」に掲載されています。

★特に住所変更については、必ず届出をしてください。

届出をされませんと、宅急便のメールサービスを利用した大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。



免許申請中で入会された方は、入会時に送付した記入用紙に必要事項（会員番号・氏名・免許番号・取得年月日）を記入のうえ、速やかに大臨技事務所へ連絡してください。
入金登録もできず、3月末日をもって除籍扱いとなります。

小型便潜血分析装置

QUICK RUN



販売代理店 和光電業株式会社 148220090

この1台で
2つの項目が測定できます！

便潜血

尿中
蛋白質

便潜血

- 小型で操作は簡単
- 分析結果を数値で出力
- 分析は金コロイド比色法
- 試薬はシングルテストタイプ
- カード方式によるキャリブレーション

尿中蛋白質

- 分析はピロガロールレッド法

便便容器

- 表面擦過法に対応した
ブラシ型容器です。
- 便の性状を問わず
採便しやすいのが特徴です。

金コロイド
比色法



ブラシ型

（販売代理店） 和光電業株式会社

〒113-0033 東京都中央区日本橋本町4-5-12 電話 03-3270-8134 / 0474-8-1471

（製造元） FUJIFILM

富士フイルム株式会社

（製造元） 和光電業株式会社

〒113-0033 東京都中央区日本橋本町4-5-12 電話 03-3270-8134 / 0474-8-1471



皆さんのご意見、情報等お待ちしております。

FAX : 06-6644-1128 E-mail : imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。

2月号の原稿〆切は 1月7日(土)、3月号は 2月5日(日)です。

2006 1月 大臨技行事予定表

研修A＝日臨技生涯教育点数A
研修B＝日臨技生涯教育点数B
研修C＝日臨技生涯教育点数C

1 日	謹賀新年  本年もよろしくお願い申し上げます	12 木	大臨技理事会 場所：大臨技事務所 時間：18：30～20：30
2 月		13 金	
3 火		14 土	
4 水	★講演会・講習会参加時は必ず会員証をご持参ください★	15 日	
5 木		16 月	
6 金		17 火	渉外部会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30
7 土	2006年2月行事予定・大臨技ニュース締め切り	18 水	研修C-10 生理機能検査部門 大阪超音波研究会 黄グループ発表「脾臓」 担当：阪南中央病院 小椋 恵美子、大阪鉄道病院 池田 桂子 場所：大阪市立大学医学部 4階大講義室 時間：18：30～20：15 参加費：年会費 2,000円（1 回のみ 500円） 連絡先(E-mail)：住友病院 尾羽根 範員 (obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp)
8 日		19 木	情報組織部会・地区事業部会 場所：大臨技事務所 時間：18：30～20：30
9 月		20 金	
10 火	社団法人設立20周年記念事業実行委員会・総務部会 場所：大臨技事務所 時間：19：00～20：30	21 土	研修A-15 第7回「大放技・大臨技合同フォーラム」 1部／教育講演～これだけは知っておきたい基礎講座～ 心電図・胸部CT撮影の見方、読み方 講師：日生病院 中央臨床検査部 山崎 正之 大阪府立呼吸器・アレルギーセンター 放射線科 山口 道弘 2部／特別講演～乳がんの診断と治療の現状～ 講師：関西医科大学 第二外科 乳腺外科科長 田中 完児 場所：関西医科大学附属滝井病院講堂 6階 時間：14：30～17：30 参加費：500円（会員・非会員とも） 連絡先(E-mail)：多根総合病院 竹浦 久司 (q_take@tane.or.jp)
11 水	研修A-10 チーム医療推進委員会 「糖尿病療養指導部会」勉強会 1. 食事療法のABC「食生活には何が必要？何が大切？」 講師：大阪赤十字病院 山下 己紀子 2. 糖尿病療養指導の実際と症例 ～私たちはこのように患者さまと関わっています～ 講師：小松病院 石原 欽也 場所：大阪鉄道病院 3階講堂 時間：18：30～20：00 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：大阪赤十字病院 山下 己紀子 (yamashita.osaka.red@apost.plala.or.jp)	22 日	
12 木	研修C-10 形態検査部門 血液検査分野 「形態セミナー シニア」(正会員+オブザーバー) 場所：あべのメディックス 7階研修室B 時間：18：30～20：00 会員(オブザーバー)参加費：500円 連絡先(E-mail)：松下記念病院 村瀬 幸生 (murase.yukio@jp.panasonic.com) 研修A-10 生物化学分析部門 臨床化学検査分野講演会 「自動分析装置での検査プロセス管理」 －検体測定結果の信頼性保証のため－ 講師：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティック(株) 半田 真澄 場所：大阪市立大学医学部 4階小講義室 時間：18：30～20：00 会員参加費：700円 連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院 増田 詩織 (shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp)	23 月	
		24 火	研修C-10 感染・免疫検査部門 微生物検査分野 定期講演会 「遺伝子検査活用術教えます」 講師：岐阜大学大学院医学研究科 大楠 清文 場所：大阪市立大学医学部 4階講義室 時間：18：30～20：00 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：財阪大微生物病研究会 坂本 雅子 (masako@biken.osaka-u.ac.jp)
		25 水	
		26 木	
		27 金	第12回 日本未病システム学会学術総会 場所：KKR HOTEL OSAKA
		28 土	第12回 日本未病システム学会学術総会 場所：KKR HOTEL OSAKA
		29 日	
		30 月	
		31 火	

★3年間で A教科(15点以上)+B教科(25点以上)+C教科(60点以上)=合計100点以上 取得を目指しましょう！ 取得者には日臨技より「修了証書」が送付されます。

携帯からでも行事予定表を見ることができます！ アドレスはこちら。<http://www.osaka-amt.or.jp/>



アルフレッサ株式会社
代表取締役社長 福 神 邦 雄

大阪オフィス ☎540-8575 大阪市中央区石町二丁目2番9号 ☎06-6942-6300<ダイヤルイン>
検査試薬 ☎06-6942-6319 Fax.06-6942-6384

中央支店 阪南支店 門真支店 奈良支店 奈良南支店 和歌山支店 田辺支店 神戸支店 阪神支店 北神支店
加古川支店 姫路支店 但馬支店 京都南支店 舞鶴支店 滋賀支店 北陸支店